

R7 江田島市学校図書館リニューアルの歩み

オリエンテーション

いよいよ学校図書館のリニューアルの始まりです！職員全体での意識統一を目指し、オリエンテーションを行いました。学校図書館をなぜリニューアルするのか、学校図書館はどうあるべきかについての理解を深めました。

【内容】

- ・なぜ学校図書館のリニューアルが必要なのか
- ・学校図書館法とは
- ・江田島市立学校の現状
- ・読みたくなる・行きたくなる・使いやすくなる学校図書館のイメージ意見交流
- ・今後のプロセスについて



現状把握

最初に、学校図書館の現状を確認しました。レイアウトの課題はどこにあるのか、本の廃棄、更新はこれまでどうなっていたのか、蔵書管理の状況や利用状況なども確認し、アドバイザーの指導のもと、年間の作業過程を確認しました。



除籍・廃棄

記載されている情報が古くなった本や、表紙などがボロボロになった古い本は、学校図書館の蔵書目録から除籍し、廃棄する必要があります。アドバイザーの指導のもと、「学校図書館ガイドライン」なども参考にしながら、学校としての廃棄基準を決めて、除籍、廃棄の作業を行っていきました。



選書

「全国学校図書館協議会図書選定基準」を参考に、学校図書館としてバランスのとれた蔵書構成（「学習に必要な本」「旬の本」「読み継がれた本」「様々な分野の入り口となる本」等）にしていきます。バラエティに富んだラインナップを揃えるため、複本は購入しないようにしました。また、図書カタログからだけの選書にならないよう、総額の割合は右の図のような方法で目安を決めて選書していきました。

概要	比率	選書方法
買換え	約2割	・内容の新しい図書に買換え ・同じ本を買換え
各教科等で必要な図書	約3割	・授業等で参考にする図書・教科書 ・掲載作家の作品・発展教材等から選書
生徒の希望	約1割	・生徒アンケートで優先順位の高い図書から選書
現物確認ブックガイドから	約2割	・県立図書館選書ツアーにて選書 ・県立図書館貸出セットから選書 ・ブックガイド掲載図書から選書
各分野の基本図書	約2割	・図書館ホームページ等から選書

【表】 図書購入総額に対する選書方法比率(例)

よりよい本を選書するために 2つのアイディア

① 広島県立図書館に行ってみよう！

広島県立図書館の児童図書コーナーにある本は、図書館司書によって厳選された良書でいっぱいです。今回は、県立図書館のご協力も得て、県立図書館にて選書ツアーを行いました。これはいいなと思う本をブックトラックに乗せて集め、背表紙を撮影させていただき、後日、書籍名を導入した図書館システムを活用して購入リスト化しました。



② 県立図書館の貸し出しセットを活用しよう！

広島県立図書館に行かなくても、厳選された良書を知ることができます。県立図書館が学校向けに貸し出しているセットは、分野等別に厳選された良書が数十冊入っています。このセットを借りて、実際に中身を見ながら、自分の学校にふさわしいものを選ぶのもよい方法です。



蔵書管理システム導入

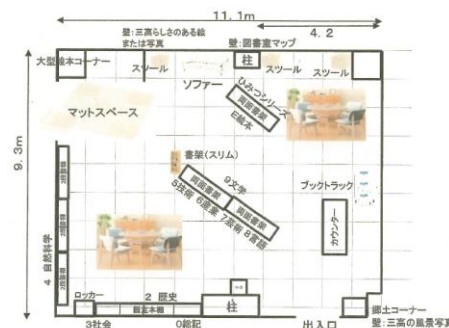
これまで、学校の図書の貸出は代本板を用いたり、蔵書管理もExcel等を用いて行っていました。今回、図書館流通センターの「TOOLi-S」という蔵書管理システムを導入することとし、蔵書管理や貸出・返却作業の電算化を行いました。併せて、児童生徒用に「TOOLi-Sタブレット版 ぼけっと図書館」を導入。自分のパソコンから学校図書館の図書検索やお勧めの本の紹介などができるようになりました。



「TOOLi-Sタブレット版 ぼけっと図書館」の画面 (図書館流通センターHPより)

レイアウト検討

「学校図書館の環境整備について」を基に、学校図書館のレイアウトを考えました。具体的な観点（使いやすい・分かりやすい・違和感がない）に沿って、持続が可能な負担のかからない設えにいきます。配架する図書やゾーニングと環境整備の関連を考慮しました。また、古くなった書架にペンキを塗るなどの環境整備も行いました。



【図】レイアウト案

書架表示等の整備

電算化に向けて、現有図書のデータを入力し、分類記号を基に、背ラベルを作成・貼付けを行いました。また、図書表示を作成・表示しました。



テーブルやソファの設置

リラクセスして読書ができるスペースや図書を使ってじっくり学習できるスペースを作るために新たなテーブルやソファを設置しました。

リニューアルの完成！ 実際の様子は裏面に！

三高小学校 学校図書館リニューアル



三高小学校の学校図書館は、学習スペースとしての機能に重点が置かれていました。そのため、子どもたちがゆったりと過ごせるスペースの工夫ができていませんでした。また、図書の廃棄・更新が進んでいませんでした。

大柿中学校 学校図書館リニューアル



大柿中学校の学校図書館は、壁を隔てて2つのスペースに分かれているため、死角となる部分が多く、生徒の出入りを制限していました。奥のスペースは古くなった本や、生徒が手に取らなくなった本を収納し、廃棄・更新が進んでいませんでした。

リ
ニ
ュ
ー
ア
ル
前

リ
ニ
ュ
ー
ア
ル
後



動線を考え、書架を斜めに配置する工夫をしています。



心穏やかに読書を楽しむことができます。



ソファや丸テーブルを置いて、リラックスして本を読むことができる開放的な空間を創出しました。本を手に取りやすいように本棚の位置を工夫しています。



書籍を面出して配架し、視覚的にアピールしています。



ワクワクするイベントを定期的に行います。



1月は「おみくじしおり」を準備しています。



カウンターの位置を変えたことで、2部屋を見渡すことができるようになりました。子どもたちが「行きたい、利用したい。」と思える落ち着きのある空間に生まれ変わりました。



広い書架スペースを利用し、面出して配架することで、視覚的にアピールしています。



学習できる机を設置しました。



ソファやスツールを設置し、ゆったりと読書に親しむことができます。



広々としたスペースで、貸出・返却がスムーズにできます。